

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート							No.	25-3
PDCA	主要事業名	乙川中部土地区画整理事業	部課名	建設部 市街地整備課			担当 内線	小林 453
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 2 - 1 単位施策： 市街地							目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用
	全体事業期間： 平成 6 年度 ～ 令和8 年度 全体事業費等： 17,060,000 千円							
	会計 乙川中部土地区画整理事業特別会計 歳出科目 01.01.01.02.50							
	3 か年実施計画（当該年度事業費等）： 1,578,300 千円							
	事業概要等	事業概要： 乙川中部地区の土地区画整理を実施することにより、道路・水路・公園など公共施設の土地基盤を整備するとともに、土地利用の再編成を行い、良好な住環境の形成を図る。地区内には、本市の道路網の骨格となる都市計画道路3・3・21環状線が計画されており、早急な整備が望まれているため、あわせて整備を進める。						
		事業目的： 土地区画整理による土地利用の再編と公共施設等の都市基盤整備により、良好な街づくりを進める。						
		事業内容： 良好な住環境の形成と（都）環状線の整備を図るため、物件移転補償、区画整理工事、測量調査設計業務委託等を行う。						
		問題点・課題等： J R 東海(株)など関係機関と施工方法及び工程管理などについて、綿密に協議打合せを実施し、国の交付金などの確保に努めながら、跨線橋の完成並びに事業の早期完了を目指す。						
	予算額	主要事業とする理由						
	1,381,121 千円	道路・下水道・公園など公共施設の都市基盤整備及び土地利用の効率化を進め、乙川中部地区の利便性・快適性など住環境の向上を図る必要があるため。						
	財源内訳	得られる成果						
	市費	建物の移転や道路整備等が進むことにより、土地利用が図られ、良好な住環境の形成につながる。						
1,114,573 千円	目標値や目指すべき状態							
国費			令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位		
232,500 千円	建物移転率	実績値	98.1	98.1	—	%		
県費		目標値	98.7	98.7	100.0	%		
0 千円		実績値						
その他		目標値						
34,048 千円		目標値						
D 得られた成果と実績値	決算額	得られた成果					主要施策の成果報告書で活用	
	1,484,986 千円	物件移転対象156件のうち残り3件が未契約となっていたが、令和3年度中に2件の契約締結ができた。そのうち1件は移転が完了し、もう1件は4年度中に移転完了予定となっている。このことから、土地区画整理事業が進捗した。						
	(うち繰越分641,411千円)							
		成果指標						
				令和3年度	単位			
C 課題の整理	事業の評価・課題			実績値	98.7	%		
				目標値	100.0	%		
A 課題解決の方向性	今後の事業の方向性	B						
		跨線橋については、歩道橋1橋を施工し、上部工として桁の製作及び桁の架設を3区間実施した。また、昨年度に引き続き、環状線4車線化工事を進め、257mにわたり4車線化することができた。今後、跨線橋の完成とともに国道の嵩上を実施するため、臨海部の企業など関係者と調整を図ることにより、令和5年度末の環状線の全面供用開始を目指す。 物件移転補償については、交渉を続けている補償対象残り1件の契約を締結する必要がある。						
	観点別評価	必要性		有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない	
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない				